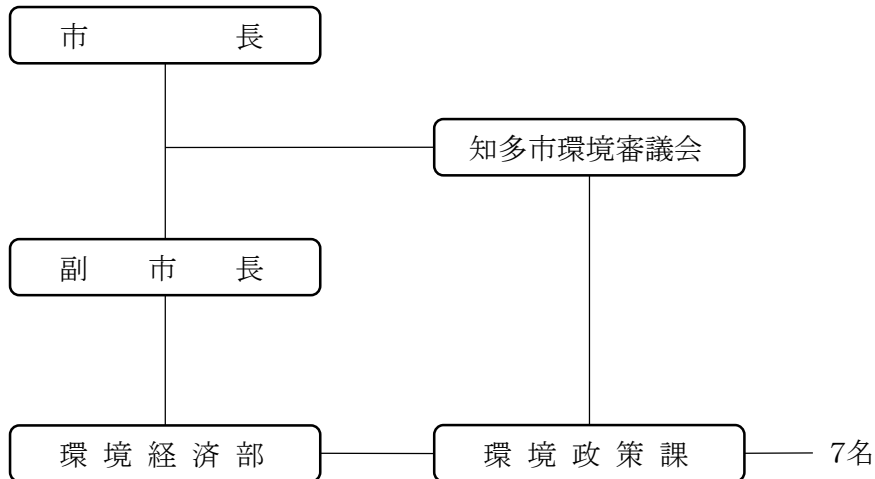


II 環境施策

1 行政機構

(平成31年4月1日現在)



分掌事務

環境政策課	<ol style="list-style-type: none">1 環境保全施策の企画及び調整に関すること。2 環境美化に関すること。3 環境保全対策(自然保護を含む。)及び環境監視に関すること。4 し尿くみ取り及び浄化槽に関すること。5 狂犬病の予防に関すること。6 ねずみ族、衛生害虫の駆除及び消毒(感染症に係るものを含む。)に関すること。7 墓地に関すること。8 知多斎場及び知多墓園(公園部分を除く。)に関すること。9 西知多医療厚生組合(し尿処理に限る。)に関すること。
-------	--

2 知多市環境審議会

知多市環境審議会は、環境基本法第44条に基づき、知多市環境基本条例第17条の定めにより設置されています。

審議会は、25人以内で組織され市長の諮問に応じて環境保全に関する基本的事項を調査及び審議する機関です。

(令和元年10月現在・敬称略)

氏名	区分
藤井敏夫	学識経験者
吉川勉	学識経験者
高山博好	学識経験者
吉房瞳	愛知県地域環境保全委員
尾内一如	市医師会代表
青山典裕	〃
篠田由起子	市薬剤師会代表
竹内市江	あいち知多農業協同組合代表
加藤勝久	知多市商工会代表
長岡俊英	(株)LIXIL
平松鋼一	コミュニティ代表 (八幡)
西尾和男	〃 (新知)
永井英明	〃 (岡田)
岡部道生	〃 (旭)
市野恵	元西知多医療厚生組合ごみ処理基本構想検討委員会委員
吹原美香	知多市教育委員
小出真二	名古屋港管理組合

3 第2次知多市環境基本計画（概要）

第1章 計画の性格

1-1 計画策定の背景

「持続可能な社会」の実現のためには、「地球規模で考え、地域規模で（身近なことから）行動する」という言葉を課題とし、未来の子どもたちに暮らしやすいまちを引き継ぐとともに、良好な「地域環境」を創造し、「地球環境」を見据えた行動をしていくことが大切です。

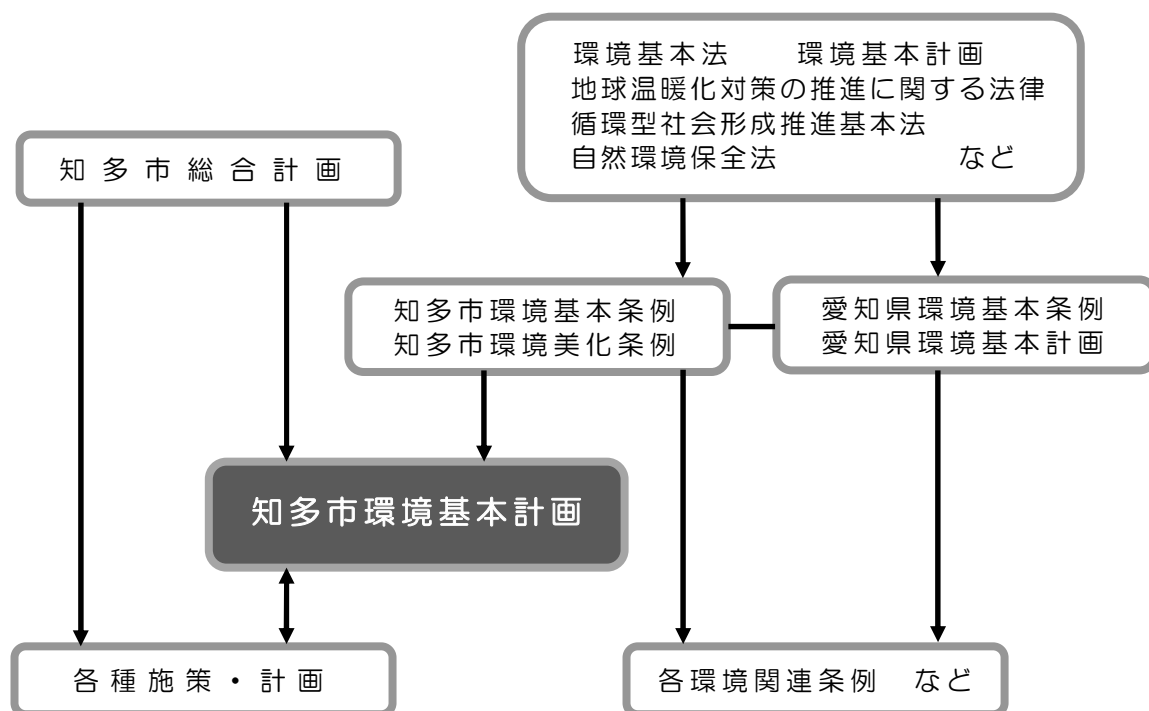
そのためには、「一人ががんばる」ではなく、「みんなで少しずつ」という意味の「一人の百歩よりも百人の一步」をめざして様々な環境問題に取り組んでいく必要があります。

第2次知多市環境基本計画は、平成14年3月に策定した知多市環境基本計画の計画期間中（平成14年度～22年度）における、社会状況の変化や本市を取り巻く環境の変化を踏まえ、平成23年3月に策定しました。

1-2 計画の位置づけ

この計画は、知多市環境基本条例第8条に基づく計画であり、本市の環境に関しての総合的な指針となるもので、地方自治法に基づく第5次知多市総合計画の下位計画として、本市の将来像を環境面から補完します。

なお、この計画ではめざすべき基本的な方向を示すこととし、温室効果ガス排出量など具体的な数値目標については、法令の規定やこの計画の理念に基づいて別に定め、その中で設定します。



1-3 市民協働

市民・事業者・市がそれぞれの立場から取組を進め、協働と役割分担により、施策目標の実現をめざすものです。

1-4 対象とする環境の範囲

分野	具体的な項目例
生活環境	公害問題、環境美化、廃棄物など
自然環境	生物多様性、土地利用など
地球環境	地球温暖化、省エネルギーなど

1-5 計画期間

将来世代にわたる長期の視点を持ちながら、平成23年度からの第5次知多市総合計画との整合を図り、10年後の平成32年度を目標年次とします。なお、環境を取りまく諸情勢の変化に伴い、必要に応じて見直しを行なっていきます。

1-6 対象地域

本市の行政区域全体とします。ただし、広域的に解決すべき環境問題については、近隣自治体との協力体制や関係機関等との連携を図ります。

第2章 環境の現状と市民・事業者の意識

環境にかかわる現状および市民や事業者が本市の環境に対してどのように考え、環境保全のために何に取り組むべきと考えているかについて、平成20年度に実施した住民意識調査、平成21年度に開催された総合計画策定「まちづくり会議」環境分科会および平成22年度に知多市商工会が実施した事業所アンケートを基に整理しています。

第3章 基本目標

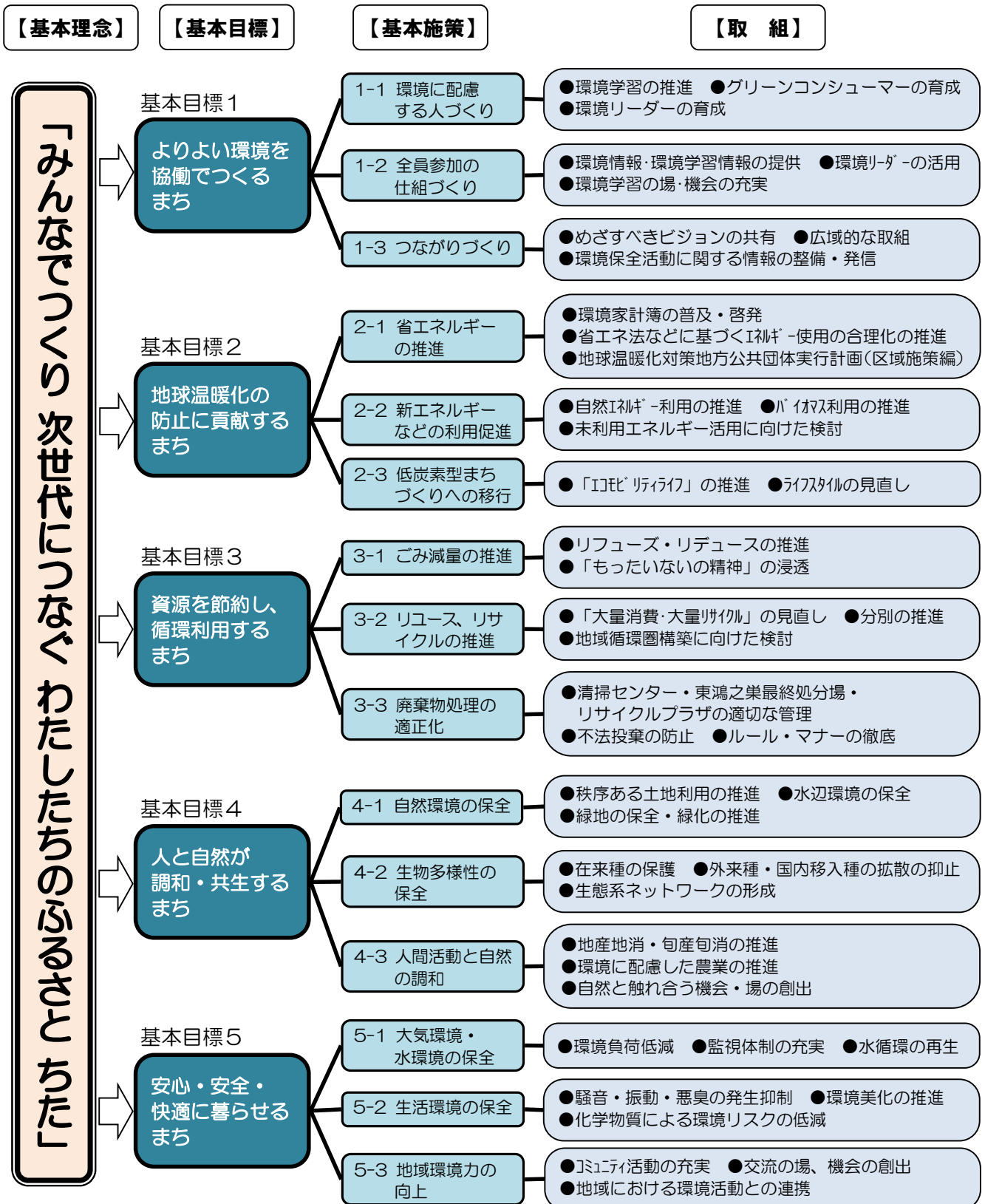
3-1 基本理念

みんなでつくり 次世代につなぐ
わたしたちのふるさと ちた

〔参考：第5次知多市総合計画における知多市の将来像〕
『笑顔つながる いきいき 緑園都市』

「一人ひとりが主役」、「協働」を基盤に、主体的な取組によって誇りと愛着を持てるふるさと、次の世代に引き継ぎたいと思えるわたしたちのまち、次世代からも評価されるまちをめざします。

本計画の施策目標を実現するためには、市民、事業者、市がそれぞれの立場で協働することで、持続可能な社会の形成をめざし、15の施策の方針を設定します。



4 啓発事業

(1) 知多市自然調査隊

「知多市自然調査隊」は、市民、市民団体、企業及び市の協働で臨海部の各事業所が整備した緑地（グリーンベルト）で自然観察を行い、緑地内の観察から様々な生物とともに暮らせる自然環境の保全の大切さについて考えることを目的に実施し、延べ137人（子ども80人、大人57人）が参加しました。

平成30年度実施状況

実施日	観察地域等	参加者
5月12日(土)	出光興産(株)愛知製油所	子ども26人 大人22人
7月28日(土)	JXTGエネルギー(株)知多製造所	子ども20人 大人14人
8月4日(土)	東邦ガス(株)知多緑浜工場	子ども25人 大人15人
9月15日(土)	(株)IHI愛知事業所	子ども9人 大人6人



(2) エコツアー

「エコツアー」は、小学生を中心とした親子が臨海部の事業所や市の施設の環境への取組みやビオトープでの自然観察などを通して環境について考えることを目的に実施し、延べ57人（子ども31人、大人26人）が参加しました。

平成30年度実施状況

実施日	ツアー場所	参加者
7月21日（土）	中部電力(株)知多火力発電所 東邦瓦斯(株)知多緑浜工場	子ども13人 大人10人
7月23日（月）	南部浄化センター	子ども10人 大人 9人
8月6日（月）	清掃センター	子ども 8人 大人 7人



5 市民活動

(1) みんながみんなでクリーンキャンペーン

クリーンキャンペーンは、地域で一斉に清掃活動を行う取組で、清潔で住みよいまちづくりのため、子どもから大人まで多くの市民が参加しています。

第19回春のみんながみんなでクリーンキャンペーンを5月27日（日）に実施し20.1tのごみを収集しました。

また、各コミュニティが実施日を決めて実施した秋のクリーンキャンペーンでは、市内全域で15.7tのごみを収集しました。



春のクリーンキャンペーン実施状況

実施日	地区名	収集量 (t)
5月27日 (日)	市内一斉	20.1



秋のクリーンキャンペーン実施状況

実施日	地区名	収集量 (t)
9月2日 (日)	新知コミュニティ	1.2
9月9日 (日)	旭南コミュニティ	3.2
	南粕谷コミュニティ	
9月16日 (日)	佐布里コミュニティ	1.6
9月22日 (土)	旭北コミュニティ	2.0
9月23日 (日)	つつじが丘コミュニティ	4.4
	東部コミュニティ	
	旭東コミュニティ	
10月21日 (日)	八幡コミュニティ	2.7
11月4日 (日)	岡田コミュニティ	0.6
合 計		15.7

